本書は、旧製品の取扱説明書を電子化したものです。
一部見えにくい箇所がございます。

記載されている内容はすべて販売当時のものです。
仕様や価格などは、その後予告なしに変更されることがあります。
あらかじめご了承ください。

この製品のボタンは指先で操作してください。ボールペンなどの先のとがった器具で押すとボタンに不具合を与えることがあります。

CASIO

4つのアラーム（デイリー・予告・スヌーズ・ウィークリー）
1/100秒ストップウオッチ・タイマー・計算機能

マルチアラーム（計算機つき）

166

使用説明書

●ご使用上の注意

温　度　直射日光が長くあたったり、高温になる所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。

●遅れ・進みが生じたり、止まったり、電池寿命が短くなることがあります。また、＋60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。

防水性　洗顔や雨など日常の使用に耐える構造になっていますが、水泳、入浴、洗車時などでのご使用はお避けください。

●防水性能を保つために定期的(2～3年を目安に)なパッキン交換をおすすめします。

ショック　通常の使用状態でのショックや軽い運動(キャッチボール、テニスなど)には十分耐えますが落としたり、強くぶつけると故障の原因になります。

磁　気　磁気の影響はありません。

お手入れ　ケースやバンドの汚れ、汗、水分などは吸湿性のよい柔らかい布でふき取り、常に清潔にしてご使用ください。金属バンドについては時々、柔らかい歯ブラシなどによって、石けん水でスキ間にたまった汚れを部分洗いすることをおすすめします。

●汚れたままですとサビたり、衣類の袖口を汚したり、皮ふの弱い方はかぶれたりする場合があります。

薬品類　水銀や化学薬品（シンナー、ガソリン、各種溶剤、またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類）が付着するとケース、バンドなどに変色や破損を生ずる場合がありますのでご注意ください。

保　管　長時間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などをふき取り、高温、多湿の場所をさけて保管してください。

●電池交換について

最初の電池　工場出荷時にモニター用電池が組み込まれておりますので、記載された電池寿命に満たないうちに切れることがあります。

消　耗　電池が消耗しますと「時刻の狂いが目立ったり」「見にくくなったり」「表示が消えたり」します。

●消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

電池交換　電池交換は必らずお買上げ店または最寄りのカシオサービスセンターにお申しつけください。

●電池は必らず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。

●液晶パネルの交換について

液晶パネルは約７年を過ぎますと数字や文字が読みにくくなる場合があります。その時はお買上げ店または最寄りのカシオサービスセンターに交換をお申しつけ下さい。実費にて申し受けます。

●保証について

保証期間内に通常のご使用において万一故障した場合は、保証書を添えてお買上げ店あるいは最寄りのカシオサービスセンターにお持ちください。保証規定（保証書を参照）にもとづき修理・調整いたします。

製品仕様

水晶発振周波数：32,768Hz
常温携帯精度：平均月差±15秒以内
表示方式：ＦＥ型デジタル表示
基本機能：時刻表示＝時・分・秒・午前／午後・日・曜日
　カレンダー表示＝年・月・日・曜日（年は西暦年の下２桁）
計算機能：８桁、加減乗除、四則定数計算、計算状態表示、エラーチェック機能、自動復帰機能
ストップウオッチ機能：計測単位＝1/100秒
　計測範囲＝23時間59分59秒99（24時間計）
　計測機能＝通常計測、積算計測、ラップ計測、1・2着同時計測
　経過時間報知機能＝経過時間が10分ごとに電子ブザーで報知
タイマー機能：計測単位＝1/100秒　セット単位＝分　電子チャイム＝20秒間
　計測範囲＝99分
アラーム機能：デイリーアラーム(アラーム１)　指定時刻にスカボロ・フェアで報時
　予告アラーム(アラーム２)　指定時刻の10分前、５分前に電子チャイム、指定時刻にシンコペイテッド・クロックで報時
　スヌーズアラーム(アラーム３)　指定時刻とその５分後、10分後に電子チャイムで報時
　ウイークリーアラーム(アラーム４)　指定曜日の指定時刻に電子チャイムで報時
　セット単位＝分　(アラーム４は曜日をセット)
時報：毎正時に電子チャイムで報時
セット機構：時刻、カレンダーセット機能、秒合わせ機能、タイマーセット機能、アラームセット機能
その他：24時間制表示切替、曜日・日付切替、モニターアラーム
主要回路素子：音叉型高性能水晶振動子　ワンチップC/MOS-LSI
使用電池：酸化銀電池(No.389)　電池別途販売
電池寿命：約18ヵ月（１日当りライトを１秒間３回、アラームを30秒、計算機能を１時間使用のとき）

JASMAC T-6B0655

●定数計算……数値のあとに ⊕、⊖、⊗、⊘ を２度押すとその数が定数としてセットされ（Kを表示）、同じ数を足したり、引いたり、掛けたり、割ったりする計算が簡単にできます。

例　題	操　作	表　示
10＋7＝17 12＋7＝19	Ⓒ　7⊕⊕10⊜ 12⊜	MK ＋ 17. MK ＋ 19.
78－12＝66 45－12＝33	Ⓒ　12⊖⊖78⊜ 45⊜	MK － 66. MK － 33.
2.3×45＝103.5 5.1×45＝229.5	Ⓒ　45⊗⊗2⊛3⊜ 5⊛1⊜	MK × 103.5 MK × 229.5
78÷9.6＝8.125 1.2÷9.6＝0.125	Ⓒ　9⊛6⊘⊘78⊜ 1⊛2⊜	MK ÷ 8.125 MK ÷ 0.125

※引き算、割り算では「引かれる数」、「割られる数」の定数セットはできません。

●メモリー計算……⊜を押した後の計算結果数がメモリーされ（"M"が点灯）、Ⓛを押すとその内容を見ることができます。Ⓒを続けて２回押すとクリアされます。

例　題	操　作	表　示
80×9＝720	ⒸⒸ80⊗9⊜	M 720.
50×6＝300	50⊗6⊜	M 300.
20×3＝60	20⊗3⊜	M 60.
合計　1080	Ⓛ	M 1080.

●訂正のしかた……計算途中の数字の押しまちがいはⒸを押し、正しく数字を入れ直せば、そのまま計算できます。また、⊕、⊖、⊗、⊘の押しまちがいは続けて正しく押し直します。

●桁オーバーになると最下桁に"E"を表示し、小数点は「億の位」を示します。"E"表示後計算を続けるときはⒸ、新たな計算を始めるときはⒸを２度押します。

時刻・カレンダーの合わせ方……「モード切替え」にしたがって、ⒷまたはⒸを押し時計モードにします。

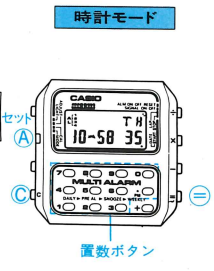
★秒の合わせ方……30秒以内の遅れ進みの修正

(1)　時計モードのとき、Ⓐを押すと表示全体が点滅します。

(2)　時報に合わせて⊜を押すと00秒からスタートします。

秒が00～29のときは切捨てられ、30～59のときは１分くりあがって00秒からスタートします。

※時報は「時報サービス電話117番」が便利です。



★「時」「分」の合わせ方

(1)　時計モードのときⒶを押すと表示全体が点滅します。

(2)　合わせたい時刻（時・分）を置数し、時報に合わせてⒶを押せば正確な時刻に合わせられます。

〔例〕午後10時６分に合わせる。

操　作	表　示
ⒷまたはⒸを押して時計モードにする	10-58 35
Ⓐを押す	10-58 33
時刻置数　1006	1006
午後指定（午後の場合のみ）　P	1006
スタート（時報に合わせて）Ⓐを押す	10-06 00

※置数をまちがえた時はⒸを押して、新たに置数しなおします。
※修正前に24時間制表示にしていたときは、置数も24時間制でおこないます。
※「時」が１桁の場合、置数は３桁になります。例：「３時25分」→「３２５」

★カレンダーの合わせ方……月末およびうるう年を自動判別するフルオートカレンダーですので一度セットすれば電池交換時以外は修正する必要はありません。

(1)　時計モードのときⒶを押すと表示全体が点滅します。

(2)　合わせたい年・月・日を置数し、Ⓐを押します。曜日は自動的にセットされます。

〔例〕1982年５月22日をセットする。

操　作	表　示
ⒷまたはⒸを押して時計モードにする	10-06 30
Ⓐを押す	10-06 33
年・月・日　置数（８桁入力）19820522	19820522
セット　Ⓐを押す	82 5-22（約２秒表示した後、時計モードにもどります。）

※置数をまちがえたときはⒸを押して新たに置数しなおします。
※年は必ず西暦年の下２桁を置数します。
※1901年１月１日～2099年12月31日までセットできます。

●鳴っているメロディー、電子チャイムを止めるにはⓁを押します。
●**他モードへの切替え**
ストップウオッチなどある機能を使用中に他のモードにしてもその機能には一切影響ありません。
●**自動復帰機能**
計算後何も操作しなかった場合、またはアラーム時刻などのセットで表示を点滅させたままにした場合、３～４分後、自動的に時計モードに戻ります。
●計算モードでの操作確認音ON/OFFはどのモードでも有効です。確認音を消しておくと時刻合わせなどでも操作確認音は出ません。ただし、アラーム機能やストップウオッチ操作確認音には影響ありません。

優先順位について

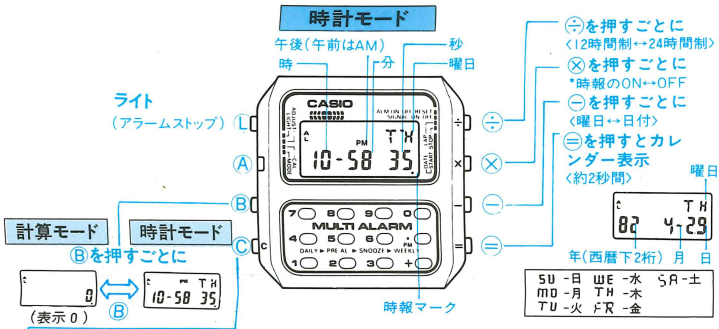
セットされたアラームあるいはタイマーの優先順位は
①タイマー　②アラーム1　③アラーム2　④アラーム3　⑤アラーム4　⑥アラーム2の予告音　⑦アラーム3のスヌーズ音　⑧時報　です。
例：②と⑤が同時刻の場合②のメロディーが鳴る

このたびは、カシオデジタルウオッチをお買いあげくださいましてありがとうございました。末永くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき正しくお取扱いくださいますようお願い申しあげます。

なお、この使用説明書は大切に保存し、必要に応じてご覧ください。

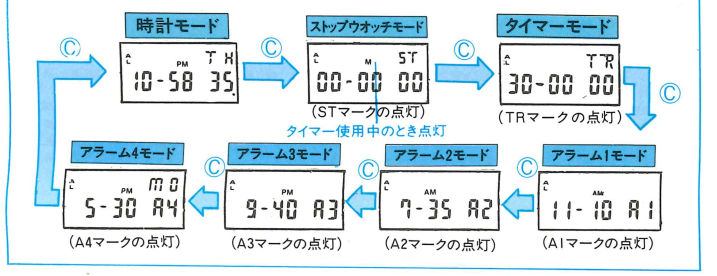
時計のお取扱いで、万一、誤ったボタン操作を行なっても、製品に障害を与えることは一切ありません。この時計の特長、機能を十分使いこなしていただくためにも、ご納得のゆくまでお試しください。

モードの切替え方 …… 各ボタンを押してお確めください。



Ⓒを押すごとに ⇨の順でモードが切替わります。
どのモードからでも、Ⓑを押すと時計モードに戻ります。

詳しくは各モードの項目をご覧ください。



＊時報について
時計モードで⊗を押すごとに時報マーク"・"がついたり、消えたりします。時報マークがついているとき、毎正時(00分のとき)に電子チャイムで知らせます。

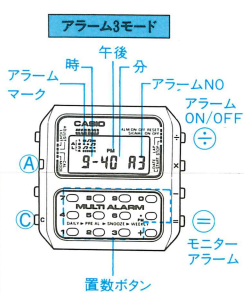
アラームの使い方 …… 「モード切替え」にしたがって©を押しアラーム1〜アラーム4モードにします。

本機には4種類のアラームがあり（A1〜A4)、同時にその機能を使用することもできます。

No.	アラーム	機　能	報知音	アラームONマーク
A1	デイリー・アラーム	毎日指定時刻になるとメロディーが鳴ります。	スカボロ・フェア（サイモン&ガーファンクル作曲）	
A2	予告アラーム	指定時刻の10分前と5分前に*約2秒間の電子チャイム、指定時刻にメロディーが鳴ります。	シンコペイテッド・クロック（L.アンダーソン作曲）*ドミソド	
A3	スヌーズ・アラーム	指定時刻に約12秒間、その5分後、10分後に**約2秒間電子チャイムが鳴ります。	ドラファラ……(8回)**ドミドミ	
A4	ウイークリーアラーム	曜日と時刻を指定でき、指定した時刻になると電子チャイムが約12秒間鳴ります。（毎日鳴らすことも可能）	ドミソ…(16回)	

●セットのしかた

(1)©を押してセットしたいアラームモード(A1〜A4)にする。
(2)Ⓐを押すと表示全体が点滅。
(3)時刻を置数し、Ⓐを押す。(アラームマークが点灯)
※アラーム4(A4)は時刻を置数する前に曜日を指定します。



〔例〕 アラーム2に午後8時7分をセットする。

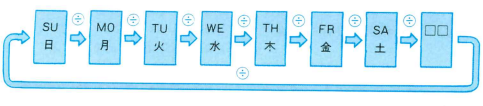
操　作	表　示
©を押し、アラーム2モードにする	7-35 A2
Ⓐを押す	7-35 A2
時刻置数　807	807
午後指定(午後の場合のみ) PM○	807
セット　Ⓐを押す	8-07 A2

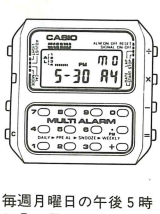
これで午後7時57分、午後8時2分に約2秒間の電子チャイム、午後8時7分にシンコペイテッド・クロックが鳴ります。

※置数をまちがえたときは©を押して新たに置数しなおします。
※時計モードを24時間制表示にしているときはアラーム時刻のセットも24時間制でおこないます。

●アラーム4(A4)の曜日セット

アラーム4は時刻を置数する前(表示点滅中)に÷を押して曜日をセットします。÷を押すと以下のように曜日が切替わりますので、指定したい曜日にします。





毎週月曜日の午後5時30分に電子チャイムが鳴ります。

※"□□"にしておくとデイリーアラームとして、毎日その時刻になると電子チャイムが鳴ります。

●アラームのON/OFF

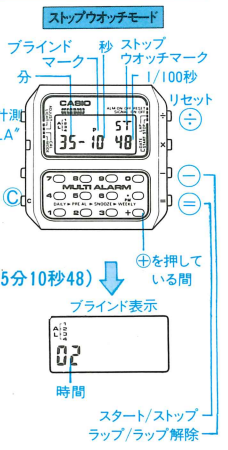
アラームモード（A1〜A4）のとき、÷を押すごとに該当するアラームマーク"　"　"　"　"がついたり、消えたりします。アラームを使わないときはそのアラームマークを消しておきます。

●モニターアラーム

アラームモード(A1〜A4)のとき、=を押すとモードに該当するメロディー、電子チャイムが鳴ります。

ストップウオッチの使い方…「モード切替え」にしたがって、Ⓒを押しストップウオッチモードにします。

ストップウオッチは1/100秒単位で、23時間59分59秒99まで計測できます。



★ブラインド表示……計測時間が60分を超えるとブラインドマーク(P)が点灯し、㊉を押している間「時間」が表示されます。

★計測のしかた……㊀を押すごとに操作確認音が鳴ります。

●通常の計測

㊀ ⟹ ㊀ ⟹ ㊦

スタート　ストップ　リセット

※積算計測……ロスタイムがある場合にはストップ後リセットせずに、再スタートさせます。

●ラップタイム(途中経過時間)の計測

㊀ ⟹ ㊁ ⟹ ㊁ ⟹ ㊀ ⟹ ㊦

スタート　ラップ計測　ラップ解除　ストップ　リセット

●1・2着のタイム計測

㊀ ⟹ ㊁ ⟹ ㊀ ⟹ ㊁ ⟹ ㊦

スタート　1着がゴール(1着タイム表示)　2着がゴール　2着タイム表示　リセット

※計測中でも㊦を押すとリセットされますのでご注意ください。

★経過時間報知機能

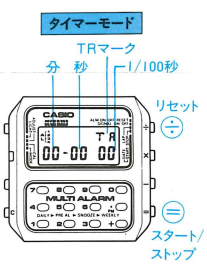
ストップウオッチモードで計測中は、経過時間が10分単位(10分、20分……)ごとに、電子ブザーが"ピッ"と鳴ります。

タイマー計測中は表示窓に"M"が点灯し、ストップウオッチが使用できなくなります。このとき、㊦を押すと"M"が消えてストップウオッチが使用できるようになります。ただしタイマーの計測内容はクリアされますのでご注意ください。



タイマーの使い方……「モード切替え」にしたがって、Ⓒを押してタイマーモードにします。

タイマーは分単位で最大99分までセットでき、セット時間が経過すると約20秒間電子チャイムで知らせます。



●セットのしかた

(1)タイマーモードのときⒶを押すと表示全体が点滅します。
(2)セットしたい時間を置数し、Ⓐを押します。

〔例〕　9分をセットする。

操　作	表　示
Ⓒを押してタイマーモードにする	TR 00-00 00
Ⓐを押す	TR 00-00 00
置数(1～99)　09	TR 09
セット　Ⓐを押す	TR 09-00 00

㊀を押すと減算計測を開始し、残り時間を1/100秒単位で表示します。

※ストップウオッチ使用中にタイマーをセットするとストップウオッチの計測内容がクリアされます。

●ロスタイムがある場合

タイマーモードのとき㊀ボタンはスタート/ストップボタンになり、減算計測をストップさせることができます。サッカーなどロスタイムのある試合時間の計測に便利です。

●リピート

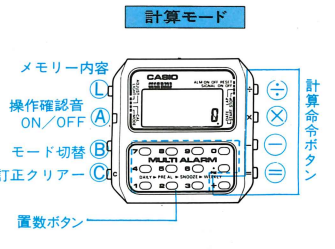
タイムアップ後(のこり時間0)、計測前にセットした時間を表示しますので、同じ時間を何回も計測するとき便利です。

計測の途中で最初からやり直すときは計測ストップ後、㊦を押します。

※計測中でも㊦を押すとリセットされますのでご注意ください。

計算機能の使い方……「モード切替え」にしたがって、Ⓑを押し、計算モードにします。

※置数ボタンの操作確認音がついています。この確認音はⒶを押すごとにON(ピッ)/OFFになりますので、必要に応じて使いわけてください。ONにしておくと計算をしたり、Ⓑを押すと確認音が出ます。各モードでの操作確認音にも有効です。



●計算は置数、答とも8桁(負数は7桁)で数式通りに操作できます。また㊉、㊀、㊉、㊦の各ボタンを押すと＋、－、×、÷が表示され、計算過程が確認できます。また㊀を押すと答がメモリーに入り、合計されます。メモリーに数値が入っているときは"M"を表示します。

例　題	操　作	表　示
12.3＋74－90＝－3.7	Ⓒ12㊋3㊉74㊀90㊀	M −3.7
(12−0.5)×3÷7＝4.9285714…	Ⓒ12㊀㊋5㊉3㊦7㊀	M 4.9285714

(裏面につづく)